

2019 年度

大学院学生募集要項

(一般選抜、現職英語教員特別選抜、社会人特別選抜)

言語コミュニケーション研究科
英語コミュニケーション専攻
修士課程

松 山 大 学 大 学 院

〒790-8578 松山市文京町4番地2

TEL: 089-925-7111 (代表)

URL: <http://www.matsuyama-u.ac.jp/>

目 次

言語コミュニケーション研究科への誘い

1. 募集人員・選抜の種類	3
2. 出 願 資 格	3
3. 試 験 に 係 る 日 程	4
4. 出 願 手 続	4
5. 選 抜 方 法	6
6. 試 験 場 所	6
7. 受 験 上 の 注 意 事 項	6
8. 合 格 発 表	6
9. 入 学 手 続	7
10. 納 付 金	7
11. 私費外国人留学生の学費減免制度について	7
12. 私費外国人留学生への奨学金制度について	7
13. 長期履修学生制度について	7
14. 大学院言語コミュニケーション研究科 英語コミュニケーション専攻授業科目一覧	8

手続書類（本学所定の用紙）

1. 入学願書
2. 身上書
3. 受験者写真票・受験票
4. 研究歴・研究課題調書〔修士課程・一般・社会人の志願者のみ〕
5. 身元保証書〔日本国籍を有しない者のみ〕
6. 出願書類チェックシート
7. 検定料振込依頼票(記入例含む)

言語コミュニケーション研究科への誘い

松山大学大学院 言語コミュニケーション研究科長 櫻井 啓一郎

本研究科は、言語学（英語学）、文学（英米）、英語教育学（英語）という3つの教育・研究分野を提供することにより、言語コミュニケーションに関する造詣を深めることを目的とした教育・研究機関です。

大学の学部において言語学や英米文学、そして英語教育学を学んだ学生はもちろん、他の分野を専攻した学生、さらに現職の教員や上記三分野に高い関心を有する社会人にも広く門戸を開いています。2010年度より全科目について Semester 制による履修に切り替えることによって柔軟な履修形態を確保し、職業を有する社会人向けには長期履修制度も導入しています。それぞれの学生諸君の就学事情に配慮した開講を目ざし、夏の集中授業なども実施しています。是非本大学院にて学んでください。

人間自身を知るための言語コミュニケーション研究

わたしたちは家庭でそして学校や地域会社で日々コミュニケーションを図りながら異なる意見や立場の妥協点を見いだす努力をしています。その努力はグローバル化された世界の平和と連帯を目指す多文化共生社会の実現にも不可欠なものです。異なる歴史や文化背景を持つ者が互いを理解するのは容易なことではありませんし、完璧な相互理解は難しいかもしれませんが、相手を知ろうとし、相手に自分を分かってもらおうとする努力を続けるしかありません。この終わりのない営みであるコミュニケーションは、人間が社会生活を送るための能力と深く関わっています。コミュニケーション能力を持つことは、人間であることの証だとも考えられるでしょう。

インターネットなど電子メディアの飛躍的な発展は、多様なコミュニケーションを可能にしました。しかし、このコミュニケーションの手軽さが、かえってわたしたちを孤立させているように思えます。なぜならコミュニケーションは、一方通行では成立しません。それは、相手との対話ややり取りといった相互作用のなかで生まれてくるものであり、関係を築く力に「言語」の力が大きく関係していると思われるからです。

コミュニケーションにおいて重要な役割を果たす「言語」、その構造と働き、言語を用いて作り出される創造的な芸術、また、言語教育についての探求は、われわれ人間自身を知る学びでもあります。現在、本研究科では英語による高度なコミュニケーション能力の飛躍的向上を目指した教育・研究を行っています。同時に、「言語コミュニケーション研究会」の研究会活動を通じて言語学、文学、そして英語教育学に関する様々なアプローチを学ぶことができます。「言語」を通じて「人間」について学んでみませんか。研究室でお会いできる日を楽しみにしています。

2019 年度松山大学大学院言語コミュニケーション研究科学生募集要項

1. 募集人員・選抜の種類

研究科・専攻	課 程	募集人員	選抜の種類
言語コミュニケーション研究科 英語コミュニケーション専攻	修士課程	6 名	一般選抜 現職英語教員特別選抜 社会人特別選抜

2. 出願資格

■修士課程・一般選抜

次の(1)～(5)のうち、いずれかの資格を有する者。

- (1)日本国において、大学を卒業した者及び 2019 年 3 月卒業見込みの者。または、日本国籍を有する者で外国の大学を卒業した者及び 2019 年 3 月までに卒業見込みの者。
- (2)独立行政法人大学改革支援・学士授与機構により学士の学位を授与された者及び 2019 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (3)次の①及び②のすべての条件を満たす者。
 - ①日本国籍を有しない者であって外国で 16 か年の課程の学校教育を修了した者。またはこれに準ずる者。
 - ②独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」が 280 点（過去 1 年以内）以上の者。
ただし、日本国外からの出願で、「日本留学試験」が実施されていない国・都市からの応募についてのみ、財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」N1（過去 1 年以内）を取得した者。
- (4)文部科学大臣の指定した者。
- (5)その他大学を卒業したと同等以上の学力があると本大学院において認められた者。

■修士課程・現職英語教員特別選抜

入学予定時において、英語教員として3年以上の教職経験があり、勤務先の学校長または所属長の推薦を受けた者。

■修士課程・社会人特別選抜

入学予定時において、次の(1)～(5)のいずれかの資格を有する者で、3 年以上の定職経験のある者、または大学卒業後 5 年以上社会人（主婦など、社会の中で一定の役割を持ち、社会の一員として働いている者）としての経験を有する者。

- (1)日本国において、大学を卒業した者。または、日本国籍を有する者で外国の大学を卒業した者。
- (2)独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2019 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (3)次の①及び②のすべての条件を満たす者。
 - ①日本国籍を有しない者であって外国で 16 か年の課程の学校教育を修了した者。またはこれに準ずる者。
 - ②独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」が 280 点（過去 1 年以内）以上の者。ただし、日本国外からの出願で、「日本留学試験」が実施されていない国・都市からの応募についてのみ、財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」N1（過去 1 年以内）を取得した者。
- (4)文部科学大臣の指定した者。
- (5)その他大学を卒業したと同等以上の学力があると本大学院において認められた者。

3. 試験に係る日程

課 程	入試期	出願期間※	試験日	合格発表日時
修士課程	第Ⅰ期	9月3日(月)～9月7日(金)	9月22日(土)	10月3日(水) 10時
	第Ⅱ期	1月15日(火)～1月28日(月)	2月9日(土)	2月18日(月) 10時

※出願期間中の窓口受付時間は9時から16時までとする。

ただし、土曜・日曜・祝日は受付を行わない。

郵送による場合はレターパックを使用とし、出願締切日16時必着とする。

4. 出願手続

(1) 検定料 30,000円

・所定の用紙を使用し、出願締切日の15時まで、金融機関窓口から電信扱いで納入すること。

・一旦納入した検定料は理由の如何を問わず返還しない。

(2) 諸注意

・身体に障がいがあり、受験に際し特別の配慮を必要とする志願者は、出願開始日の1ヶ月前までに申し出ること。

・日本国外から日本国籍を有しない者が出願する場合は、出願期間にかかわらず事前に出願書類の提出を求める場合があるので、早めに問い合わせをすること

(3) 出願書類等

・下表の書類を持参・あるいは郵送(「レターパック」使用)すること。

・書類の作成については、ペンまたはボールペンにより楷書で記入すること。

提出書類	摘 要	修士・ 一般	修士・ 現職 英語教員	修士・ 社会人
イ 入学願書	本学所定の用紙 別掲の「授業科目一覧表」を参照すること。	○	○	○
ロ 身上書	本学所定の用紙	○	○	○
ハ 受験者写真票等	本学所定の用紙	○	○	○
ニ 最終出身大学の 卒業(見込)証明書※	最終出身大学が中国の場合は、その卒業証書のコピー及び「公証書」の原本を提出すること。	○	○	○
ホ 最終出身大学の 成績証明書※	厳封のこと。	○	○	○
ヘ 研究歴・研究課題調書	本学所定の用紙 日本語(各1,000字程度)と英語(各500語程度)の2種類 作成すること。	○ ○		○ ○
ト 研究計画書(志望理由 を含む)	これまでの研究歴と入学後の研究課題、及びその進め方等を明示すること。 A4判で日本語(3,000字程度・原則としてワープロ使用)、と英語(1500語程度)の2種類作成すること。		○ ○	
チ 勤務先の学校長または 所属長の推薦状			○	
リ 検定料振込控(写)	所定の用紙を使用し、30,000円を振込後、本人控えを複写して提出すること。	○	○	○

提出書類	摘要	修士・ 一般	修士・ 現職 英語教員	修士・ 社会人
ヌ 日本国籍を有しない者については、以下の①～③の書類も用意すること。				
①身元保証書	本学所定の用紙 署名捺印し、その印鑑の印鑑登録証明書を添付すること。 *保証人は日本国籍を有する者、または日本に永住する外国人及びそれぞれに準ずるもの(出国管理及び難民認定法別表第二に定める)に限る。	○		○
②身元保証人の住民税または所得税の納税証明書、源泉徴収票、確定申告書(写)のいずれかで、年間の所得及び納税額を証するもの。		○		○
③身元保証人の身分を証明できるもの(運転免許証等)のコピーを提出すること。 なお、身元保証人が日本国籍を有しない場合は、住民票又は住民票記載事項証明書を提出すること。		○		○
ル 日本国籍を有しない者で、かつ、各入試制度出願資格(3)の者については、次の書類も用意すること。 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書、または財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」の合否結果通知書(日本語能力認定書も添付すること)。いずれの場合も原本を提出すること。 *原則として提出された書類は返却しないが、個人情報保護法に基づき、松山大学で厳重に管理する。ただし、「日本留学試験」の成績通知書及び「日本語能力試験」の合否結果通知書並びに日本語能力認定書は返却する。		○		○
ヲ チェックシート	所定の用紙を使用し、出願前に適切にチェックすること。	○	○	○

※ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者は上記ニ・ホに代えて、学位授与証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)、若しくは短期大学長または高等専門学校長等の発行する学位授与申請(予定)証明書。

※ 出願書類及び記載内容に不備がある場合は受理することができない場合がある。出願書類チェックシートを用いて、誤りや漏れがないよう確認すること。なお、電話で確認が可能な記載不備等については、連絡先として記載された電話番号に問い合わせることがある。

※ 一旦受付した出願書類は返還しない。また、受理できなかった出願書類等は本学が責任をもって処分する。

(4) 出願書類の提出先及び問い合わせ先

〒790-8578 松山市文京町4番地2

松山大学教務部教務課 大学院言語コミュニケーション研究科

電話 089-925-7111(内線 305) E-mail:mu-kyomu@matsuyama-u.jp

※提出は持参または、郵送(「レターパック」使用)すること。

5. 選抜方法

■修士課程・一般選抜

選考は下記の試験結果、出願書類を総合して行う。

試験科目 (2科目とも必須)		試験時間
専門科目	英語教育 (異文化コミュニケーション論を含む)、言語学・英語学、英米文学	9:00～10:30(90分)
英語		11:00～12:00(60分)
面接	出願書類等にもとづいて行う。	13:30～

■修士課程・現職英語教員特別選抜

選考は出願書類の内容確認とそれに基づく面接を実施し、大学院での教育を受ける能力と研究意欲、入学後の研究計画性を総合して行う。

試験科目		試験時間
面接	出願書類等にもとづいて行う。	13:30～

■修士課程・社会人特別選抜

選考は下記の試験結果、出願書類を総合して行う。

試験科目		試験時間
英語		11:00～12:00(60分)
面接	出願書類等にもとづいて行う。	13:30～

6. 試験場所

松 山 大 学 松山市文京町4番地2 (試験教室等の詳細は、受験票と併せて通知する。)

7. 受験上の注意事項

- (1)各試験において、試験開始時刻の10分前には指定の教室に集合すること。
- (2)受験に際しては、必ず受験票を持参すること。
- (3)大学内への自動車での乗り入れはできない。

8. 合格発表

第Ⅰ期 2018年10月3日(水)10時

第Ⅱ期 2019年2月18日(月)10時

合格者については、学内2号館前教務部掲示板(大学院)に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

9. 入学手続

(1) 入学手続期間

第Ⅰ期合格者 2018年10月3日(水)～2018年10月12日(金) 16時〔必着〕

第Ⅱ期合格者 2019年2月18日(月)～2019年2月26日(火) 16時〔必着〕

(2) 学費の納付(金額については「10. 納付金」を参照)

第Ⅰ期合格者 : 通知する金額の入学金を納入すること。在学科については、のち(2月下旬)に通知する前期分金額を2019年2月26日(火)15時までに所定の用紙で金融機関窓口から電信扱いで納入すること。

第Ⅱ期合格者 : 通知する金額の入学金及び前期分在学科を2019年2月26日(火)15時までに所定の用紙で金融機関窓口から電信扱いで納入すること。

* 一旦納入した入学金は、理由の如何を問わず返還しない。在学科は、2019年3月31日(日)(消印有効)までに入学辞退を届け出た場合は返還する。なお、入学辞退届けを直接持参する場合は、2019年3月29日(金)まで(土・日・祝日を除く8時30分から17時)に教務部教務課まで提出すること。

(3) 提出書類 ※提出書類については、合格通知の際、別途案内する。

住民票の写し又は住民票記載事項証明書<原本> (2019年2月以降の証明日付があるもの) 1通	
カラー写真	2葉(1か月以内に撮影したもの・サイズ2.5cm×2.5cm)
誓約書・同意書、保証書	本学所定の用紙
卒業証明書	〔修士課程・一般選抜〕応募者のうち、出願時「見込」の者のみ 1通 (2019年3月22日(金)までに提出すること。)

10. 納付金

2019年度の納付金額

	学外出身者	本学出身者
入 学 金	126,000 円	72,000 円
在学科(年額)	570,000 円 (納付は、前期 285,000 円、後期 285,000 円の分納である。)	

* 委託徴収分(年額)

温山会終身会費 10,000 円(本学出身者を除く)

温山会とは、松山大学各学部、大学院、短期大学と、その前身である松山高等商業学校、松山経済専門学校、松山商科大学の卒業生を正会員とする本学の同窓会。その会費を2年間にわたり、委託徴収する。

11. 私費外国人留学生(在留資格が「留学」)の学費減免制度について

松山大学私費外国人留学生学費減免規程に基づいて、入学年度は半額減免、翌年度からは前年度の学業成績及び資格審査により、「60%減免」、「半額減免」又は「30%減免」が適用される場合がある。ただし、必ずしも対象者全員に適用されるには限らない。

※詳細については、国際センター事務部へ問い合わせること。

12. 私費外国人留学生への奨学金制度について

修学状況等により、各種奨学金が支給される場合がある。

※詳細については、国際センター事務部へ問い合わせること。

13. 長期履修学生制度について

言語コミュニケーション研究科では、2年間の在学科で3～4年間履修できる長期履修学生制度を導入しています。詳細は、本研究科担当者へ問い合わせください。

14. 2019年度 大学院言語コミュニケーション研究科

英語コミュニケーション専攻授業科目一覧

大学院言語コミュニケーション研究科修士課程

授業科目		単位数	担当者(予定)
専 門 科 目	コミュニケーション 科目群	異文化コミュニケーションⅠ特講	2 Jay Ercanbrack
		異文化コミュニケーションⅡ特講	2 Jay Ercanbrack
		言語コミュニケーション研究特別講座 英語コミュニケーションⅠ	2 Bruce LANDER
		言語コミュニケーション研究特別講座 英語コミュニケーションⅡ	2 Bruce LANDER
	教育系科目群	英語教育学 AⅠ特講	2 Jay Ercanbrack
		英語教育学 AⅡ特講	2 Jay Ercanbrack
		英語教育学 BⅠ特講	2 寺嶋 健史
		英語教育学 BⅡ特講	2 安藤 津
		英語教育学 CⅠ特講	2 瀧 由紀子
		英語教育学 CⅡ特講	2 池上 真人
		英語教育学研究特別講座 教材論	2 池野 修
	言語系科目群	言語学Ⅰ特講	2 久保 進
		言語学Ⅱ特講	2 久保 進
		社会言語学Ⅰ特講	2 久保 進
		社会言語学Ⅱ特講	2 久保 進
		英語学Ⅰ特講	2 櫻井 啓一郎
		英語学Ⅱ特講	2 櫻井 啓一郎
		音声学Ⅰ特講	2 市崎 一章
		音声学Ⅱ特講	2 市崎 一章
		言語学研究特別講座 バイリンガリズムⅠ	2 久保 進
		言語学研究特別講座 バイリンガリズムⅡ	2 久保 進
言語学研究特別講座 心理言語学	2 井狩 幸男		
文学系科目群	英米文学Ⅰ特講	2 新井 英夫	
	英米文学Ⅱ特講	2 新井 英夫	
	米文学Ⅰ特講	2 吉田 美津	
	米文学Ⅱ特講	2 吉田 美津	
	英文学Ⅰ特講	2 矢次 綾	
	英文学Ⅱ特講	2 矢次 綾	
	英米文学研究特別講座	2	

課 題 演 習 I	2	池上 真人 市崎 一章 櫻井 啓一郎 瀧 由紀子 矢次 綾
課 題 演 習 II	2	池上 真人 市崎 一章 櫻井 啓一郎 瀧 由紀子 矢次 綾
課 題 演 習 III	2	
課 題 演 習 IV	2	

備 考

1. オフィシャルサイトで授業科目のシラバス（2018年度）を参考にし、希望指導教授2名を課題演習担当者の中から選び入学願書に記載すること。
2. 指導教授の決定については研究科言語コミュニケーション研究科の承認を得るものとする。
3. 指導教授の担当する課題演習は必修とし、2年間にわたって履修するものとする。
4. 修士課程の修了要件は、大学院に2年間以上在学し、専門科目22単位以上、課題演習8単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文もしくは課題研究・ポートフォリオの審査及び最終試験に合格することとする。
5. 上記に合格した者には、修士（英語コミュニケーション）の学位が与えられる。
6. 上掲の担当者については変更することがある



〒790-8578 / 松山市文京町4番地2
TEL(089)925-7111(代)